

昭和31年度日本気象学会秋季講演会 気象研究所第13回研究報告会

日 時 昭和31年11月15日(木)~17日(土)
場 所 気象研究所講堂(杉並区)馬橋4-499・国電高円寺下車)

第1日(15日)

第1会場

午前の部(0900)

1. 村上多喜雄、増田善信、荒川昭夫(予報研)：台風域内における上昇気流の分布と、台風の数値予報について
2. 伊藤 宏、増田善信(予報研)：リレー計算機を用いた台風の進路予報
3. 寺内栄一、鍋島泰夫、鈴木恒三、鷺坂恭一、伊丹武夫、佐藤忠夫(予報課)：台風進路の数値予報
4. 鍋島泰夫(予報課)：圏界面附近の大気構造と300mbの数値予報について
5. 村上多喜雄(予報研)：定常場の上昇速度と非断熱量について
6. 渡辺次雄(図書課)：地形による発散について
7. 鯨井孝一(予報課)：500mb5日平均図の予想図を作る一方法
8. 高橋浩一郎(予報研)：大気環流の長周期変動について
9. 鈴木栄一(予報研)：北半球500mb面、等圧面高度、気温の標準偏差の意味

— 休 憩 —

午後の部(1300)

11. 岸保勘三郎(東大)：地衡風近似を用いない場合の大気擾乱の取扱
12. 根本茂(物理研)：風速変動記録の乱子模型化に対する一つの試み
13. 毛利圭太郎(予報課)：本邦上空の温度場に及ぼすアジア山岳の影響
14. 大塚竜藏、島田健司(予報課)：1956年5月~7月におけるピキニ実験当時の上層気流の状態及び降灰分布について
15. 曲田光夫(予報研)：山脈による偏西風帯の擾乱

15. 関谷 溥(東管)：悪天候時の気温変化の解析の一例
16. 藤原滋水(予報課)：Time step と近似度とについて
17. 倉嶋 厚(予報課)：広域天気型について
18. 織畑重太郎(日本航空)：Subtropical jet の南に於ける High-level cyclone
19. 岡本雅典(研修所)：半旬平均気圧場の平均的変動範囲について
20. 有住直介(予報課)：綜観気象的に見た絶対渦位について
21. 荒川秀俊(予報研)：異常な航跡を描いた300mb面の浮流気球についての力学的考察
22. 須田 建(予報課)：1955年3月の持続的悪天について
23. 石原健二、野口敏正、杉浦 茂、藤原滋水、福井篤、畑 賢秀、土屋 清(予報課)：Smallscale の雨量予報(第1報)

第2会場

午前の部(0900)

24. 須田友重(電磁研)：太陽爆発にともなう宇宙線異常増加について
25. 北村正丞(電磁研)：宇宙線日変化に及ぼす気温の影響
26. 関原 疆(高層研)：可視域の天空光強度分布について
27. 関原 疆(高層研)：本邦に於ける水平面日射量分布について
28. 岡林俊雄(高層气象台)：全オゾン量の変化について
29. 堀内剛二(研修所)、山崎正博(高層气象台)：館野における大気オゾンに就て
30. 桜井澄子(化学研)：軽井沢における地面附近の大気オゾンの化学的測定

31. 川村 清 (化学研) : 軽井沢における大気オゾン量の観測
 32. 相馬清二、高橋喜彦、工藤知子 (物理研) : 夜間輻射による積雲層内の温度分布と空気の渦動拡散率
 33. 高橋喜彦、相馬清二、工藤知子 (物理研) : 夜間冷却しつつある積雲層への水蒸気の昇華について

午後の部 (1300)

34. 神山恵三 (応用研)、山口 裕、窪田延為、梨本一郎、菊地和夫、寿田鳳輔 (東京医歯大) : 風の刺激に対する血管運動反射について
 35. 神山恵三、柏木 力、矢野 直、森口 実、成瀬弘 (応用研) : 山岳滞在による血管運動反射の型の変化
 36. 三寺光雄 (応用研) : 植物気候の研究——日本の農業気候の研究 (第2報)
 37. 吉野正敏 (東教大) : 谷の断面形と地表風の構造
 38. 木沢綏 (地震研) : 昭和新山の生成
 39. 樋口長太郎 (地震研) : 強震加速度計の試作

第2日 (16日)

午前の部 (0900)

40. 星野 保 (予報課) : 10月2日関東の大雨の解析
 41. 増井次夫 (横浜国大) : 台風の気温分布について
 42. 佐々木良一 (予報課) : Sutcliffe の発達理論にもとづいた台風第5415号の発達の解析
 43. 高橋浩一郎 (予報研) : モンテ・カルロ法による災害現象の研究
 44. 荒川秀俊、堤敬一郎 (予報研) : 自流式水力発電所の可能発電々力量の季節変動及び年々の変動について
 45. 孫野長治、織笠桂太郎 (北大) : 微水滴の分裂と飛跡について (第2報)
 46. 村井五郎 (北大) : 降雪粒子の結晶形と上層大気の状態との関係について
 47. 伊藤暈自 (応用研) : 細氷結晶の特異形
 48. 磯野謙治 (東大) : 氷晶の形成過程について
 49. 当舍万寿夫 (高層研) : 対流性雲の厚さの予報法

—— 休憩 ——

午後の部 (1300)

50. 今井一郎 (高層研) : 8月14日の雷雨のレーダー解析
 51. 今井一郎 (高層研) : 台風の Rainband について
 52. 藤原美幸、今井一郎、吉原善次、市村市太郎、青柳二郎 (高層研)、大塚 茂 (東管) : 5615号台風の

レーダー観測

53. 藤原美幸 (高層研) : 1956年4月1日の降雪について
 54. 藤原美幸 (高層研) : 融解層における気温変化について
 55. 藤原美幸、吉原善次 (高層研) : 降雨型による Z-R 特性の変化
 56. 吉原善次、青柳二郎 (高層研)、大塚 茂、大貫益夫 (東管) : 波長 5.7cm及び 3.2cm レーダーによる降雨の比較観測について
 57. 市村市太郎 (高層研) : 柱状エコーの高度と発雷の関係について
 58. 北川信一郎、小林正治 (電磁研) : 前駆放電による電場変化について
 59. 北川信一郎、小林正治 (電磁研) : 電光放電にあずかる雲中の電荷分布について
 60. 孫野長治、織笠桂太郎 (北大) : 空中電場、雲形及び雨滴の電荷について
 61. 成瀬 弘、矢野 直 (応用研) : 濾紙による空中塵埃の観測 (第1報)
 62. 石井千尋、新井芳子、池田元久 (電磁研) : 気球による上層大気の放射能観測
 63. 石川業六 (電磁研) : 熱遮蔽されたラジオゾンデ内の温度
 64. 小林寿太郎、経塚 貢 (高層研) : ラジオゾンデ用電位計の試作経過に就いて (第2報)
 65. 小林寿太郎、外山芳男 (高層研) : ラジオゾンデ用露 (霜) 点湿度計の試作経過に就いて (第3報)
 66. 清水逸郎 (測器課)、木村 茂 (測器研) : 気圧の測定に及ぼす風の影響

第3日 (17日)

午前の部 (0900)

気象電気に関するシンポジウム

会場——研修所東京教室 (気象庁構内)

座長 今道周一 (東理大)

1. 内川規一 (地磁気観) : 自由大気中の気象電気現象
 2. 河村 謙 (地磁気観) : 降水現象と大気電場その他の気象電気要素との関係
 3. 川野実 (電気試) : 大気中の自然放射能とその気象電気現象における役割